



THE
PRODUCT
SPECIAL

OKADA PROJECTS

PLASMA V PLUS

© オカダプロジェクト ☎ 044-822-3341 Ⓔ http://www.okadaprojects.com



④ 同社の製品はすべてコンパクトに設計されている。とくに近年のスポーツバイクはスリムなデザインモデルが多く、絶版車に比べて電装系パーツの設置箇所が極端に限られるためだ

カプラーオンで装着できる 車種別ハーネスキットを充実

点火系チューニングの定番パーツとして知られるプラズマブースターで積み重ねたテクノロジをもとに、オカダプロジェクトが考案した昇圧システム。それが昇圧回路によって電圧を高めて点火力を強化するというプラズマVプラスである。

通常13〜13・8Vといわれるコイルに流れる電圧を、16Vもしくはモーター切り替えにより15Vまで昇圧させることで、燃焼効率を向上させパワー&トルクアップを図れる商品だ。しかし、今回注目したいのはプラズマVプラスのオプション品(別売)として設定されている車種別ハーネスキットだ。

年々増え続けるダイレクトイグニッション車にプラズマVプラスを装着するためには配線加工が必要となるが、車種別ハーネスを使用すればカプラーオンで装着できる。タンクやエアクリナーなどを外してイグニッションコイルが見えるようにすることができれば、あとはコネクタ同士を接続して車体にアースを落とすだけでOKという手軽さだ。実際に今回は車両を同社に持ち込んで装着してもらったが、配線加工が不要なぶん作業時間も驚くほど短縮できていた。

対応車種のダイレクトイグニッション車は、カウルを装着したスポーツモデルが多いため、タンクやエアクリナーなどを外すためには外装パーツも取り外さなければならぬことが多い。そのため、オカダプロジェクトでは装着作業をシヨップに依頼することを推奨しているそうだが、イラスト付きのわかりやすい取付説明書も用意されているため、カスタム上級者なら容易に装着することができるとはないだろうか。

強力な点火力が引き出す 本来のパワー&トルク



⑤ 車種別ハーネスを用いてニンジャ1000にプラズマVプラスを装着してもらったところ、約1時間で装着できた。もちろん外装パーツの着脱にかかる時間は車種によってまちまちだが、配線加工の必要がない車種別ハーネスを用いることで作業時間が大幅に短縮できるのは間違いないだろう



⑥ 今回はツーリング好きな一般的なライダーのニンジャ1000に装着して走ってもらった。その感想はというと、ソロで乗っているときはよりタンデムで乗っているときのほうが乗りやすく感じたという。たしかにパワー&トルクが出ているようだ